

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス UNICO NEXT博多		公表日	2026年4月3日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の朝礼、運営ミーティングで実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	半年に一度、本社からのクオリティチェック巡回が実施される為、内部での評価や確認は行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	-		標準化されたアセスメントツールは使用していない。日々の行動観察は実施し、確認している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	-		翌日に実施	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		「地域交流の機会の提供」については、外出支援を通して地域にある社会資源を活用する機会を提示している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	-		本年度、低学年の児童の受け入れなし	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	-		本年度、対象者なし。（今後予定している）	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○				

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説 明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける 等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。		○		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他 必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよ う、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知し ているか。	○			

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス UNICO NEXT博多		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学年を越えた子ども同士の繋がり	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士でできる声かけの工夫、友だちとの距離の取り方を伝えています。 子どもが得意なことや好きなことを発揮する機会を提供したり、それを通して子ども同士が繋がるきっかけ作りをし橋渡しをしています。 子ども自身の自己理解に繋がるよう関わっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、できた実感や自覚をもてること、博多教室以外でも応用や汎化ができていくことを目指します。
2	子どもたちが安心して通い、主体的に過ごせる場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> 自分のペースで活動を選び、決めていいんだという経験が積める環境があります。 そもそも自分がどうしたいか、どうなりたいかに目を向け伝えられる関係作りを努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども発信の企画を通して、より“自ら育つ”機会に繋がり、新たな経験を重ねる機会を提供していきます。
3	進学のための様々な機会提供	<ul style="list-style-type: none"> 様々な年代の児童が在籍され、実際に通学している年上の児童から、リアルな中学校・高校生活について話を聞く機会を提供することができます。 面談を通して、自分自身が何に興味関心があるか把握する機会を提供しています。(自己分析のサポート) 進学先の調べ方を具体的に紹介し、状況に応じたサポートをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の職業選択につながるよう、職業体験イベントやオープンキャンパス、就労支援機関への見学等、より具体的にイメージができるような機会提供を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災・安全に関する情報のご家族との共有	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に防災訓練を実施していますが(規定の訓練実施に加え、ららぽーと主催の訓練にも参加)、人が多く集まる商業施設内(ららぽーと福岡)にある事業所であることを鑑みると、保護者様への説明・連携が不十分な状況がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を継続しつつ、災害発生時の保護者様との連携方法について、定期的に共有・周知してまいります。
2	多様な活動場所の展開	<ul style="list-style-type: none"> 主に室内は個別の課題に集中して取り組める設計とし、身体を使った運動などのその他の活動については積極的に個外活動への案内を取り入れて支援する方針としておりますが、十分な案内に至っておりません。 併せまして、商業施設内にあるため施設のルール基準として、一部活動制限もあります(調理器具の種類、ボールを使えるエリアの限定等)。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内設備の活用のほか、児童自身の企画による外出企画の実施含め、施設外の社会資源を活用した様々な経験を積む機会に繋がります。 調理企画は、引き続き施設内のルール基準にのっとりメニューを工夫しながら展開してまいります。
3	IT機器をより活用した活動機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ITツールを活用できる環境を用意しておりますが、子どもたちが意欲的に活用し、スキルを獲得できるような支援にまでは至っておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ITツールの活用例を子どもたちに具体的に紹介し、ITを身近に感じるきっかけに繋がっていきます。 子どもたちと一緒にITツールで情報収集をしたり、地域にある資源や機会を活用できるよう取り組んでまいります。